

ひと 地球 やさしい家のワケ

vol.04

人を集め、沢山のあたたかさをくれる 薪ストーブ「ダッチウエスト」

体に優しいお家の暖房器具におすすめしたいのは、やっぱり薪ストーブ。その中でも「無添加あいの家」の扱ったダッチウエストはアメリカ・バーモントの森が生んだ、極められた名薪ストーブ。その機能性はもちろん、注目したいのは薪ストーブが生む様々な「温かさ」。薪ストーブにはこんなに素敵な魅力がたくさんあります。



シンプルな暖かさ

薪で沸かしたお風呂に入ると湯冷めしにくいと言われているのと同様に、薪ストーブの暖かさには、体を芯から温めてくれる感覚があります。鑄物を温め、その熱伝導で素材のひとつひとつ、家を奥の方から温め、家全体を暖かさに包む。「家のぬくもり」という言葉がしっくりくる、そんな暖かさをもたらしてくれます。



呼吸がしやすい。四季に合わせて健やかに心地よく暮らせる。「無添加あいの家」、私たちが家を作る上で考えるのは、住む人の健康と居心地よさ。そして家自体がいつしか土に、自然に還ってゆくことのできるものであるということ。だから選ぶ素材にはワケがあります。「ひとと地球にやさしい家のワケ」を少しずつお伝えしていきます。

環境に優しい生活の道具

もともと人は、石油や石炭ではなく自然循環の中にある「木」で調理し、暖をとり、環境のバランスを保ちながら自然と共存してきました。木を燃料にする薪ストーブは、日本古来の囲炉裏やかまどといったものから、形をかえ今に受け継がれる生活の道具なのです。



人を集める

赤く揺れる炎、ぼちぼちと木の燃える音、かすかな匂い…火は周りに人を集めます。そして薪集めに、手入れ…薪ストーブがあることで必要になる家の中の仕事があります。薪ストーブを囲んで話すこと、家族の一員として協力して仕事を行うこと。そこにあるのは自然と失われつつある家族でのコミュニケーション。ストーブの周りには、肌感覚だけでなく、大切な温かさが生まれるのです。